

市内の廃棄物処理業者が「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を発足！

～横浜市と連携協定を締結し、動静脈連携の取組を促進します～

市内の廃棄物処理業者7社が中心となり、「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を新たに発足しました。このプラットフォームでは、市内において動脈産業※1と静脈産業※2が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させるとともに、本市の資源循環施策の推進も図ります。

本市は、プラットフォームを立ち上げた7社と連携協定を締結し、プラットフォームの運営等を支援していきます。

また、令和6年11月27日にキックオフイベントを開催し、プラットフォームの発足を広く発信します。

※1 製品の製造等を行う産業

※2 製品が廃棄物等となった後にリサイクル等を行う産業

1 プラットフォームの概要

(1) 名称

横浜市資源循環推進プラットフォーム ※ 略称「YRCプラットフォーム」
(Yokohama City Platform for Resource Circulation)

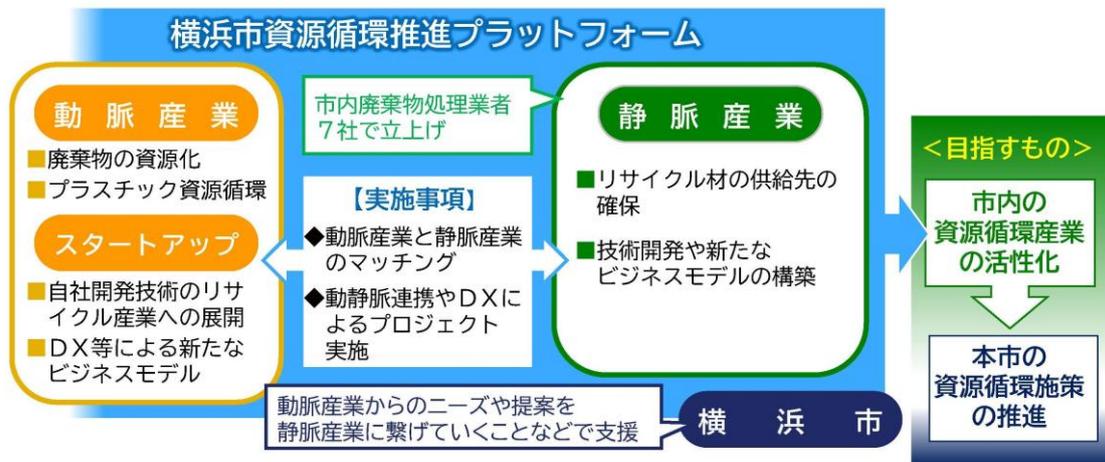


(2) 幹事会社 (各社の紹介は別紙1を参照)

株式会社グリーン、株式会社春秋商事、J&T環境株式会社、横浜環境保全株式会社、武松商事株式会社、株式会社ケイ環境企画、ecomate 有限会社[11/1に佐藤清掃(株)から社名変更]
(いずれも公益社団法人神奈川県産業資源循環協会の会員又は横浜市一般廃棄物許可業協同組合の組合員)

(3) 実施事項

- ① 動静脈連携※3による取組の実施に向けた個別プロジェクト
 - ② 脱炭素化・資源循環の推進に資する技術の開発・実用化に向けた個別プロジェクト
 - ③ その他、脱炭素化・資源循環の推進に向けた取組であって、プラットフォームの目的に資するもの
- ※3 「動脈産業側の再生資源確保」と「静脈産業側の再生原料供給」が有機的に連携した資源循環



【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 キックオフイベントについて

(チラシは別紙2を参照)

- (1) 日 時 令和6年11月27日(水) 13時00分～16時00分 (開場12時30分)
(2) 場 所 Vlag yokohama (フラグヨコハマ)
横浜市神奈川区鶴屋町1丁目41番 THE YOKOHAMA FRONT 42階
(3) 定 員 100名(事前申込制・参加費無料)
(4) プログラム内容 講演、パネルディスカッション

参加申込 URL <https://forms.gle/o6sAVM9sdiGUALnW8>



(5) 当日の取材について

資源循環局事業系廃棄物対策課へメールで事前にお申し込みください。

◆メー ル： sj-genryo@city.yokohama.lg.jp

◆申込期日： 令和6年11月22日(金)17時15分まで

プラットフォームの発足に合わせて、本市の資源循環施策を拡充します！

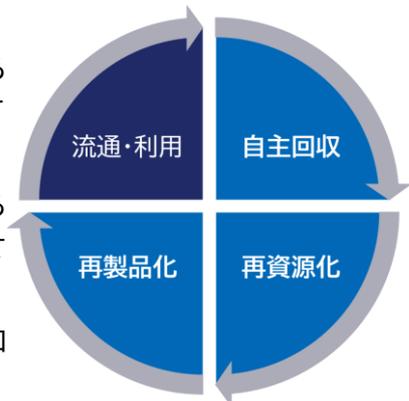
■横浜市において「使用済みプラスチック使用製品を再製品化の原材料とする条件」を公表 ～製造・販売事業者等によるプラスチックの自主回収に係る取組を促進します～

本市では、使用済みプラスチック使用製品の自主回収・再製品化事業であり、次の条件1～3を全て満たす場合は、当該事業で回収する使用済みプラスチック使用製品を廃棄物ではなく原材料(有価物)とすることで、円滑な流通を図ります。

条件1 使用済みプラスチック使用製品を有価又は無償で引き取る
とともに、回収時点で悪臭等衛生上の問題がなく、原材料としての
価値が認められること。

条件2 使用済みプラスチック使用製品の回収から再製品化される
までの一連の工程が自主回収事業者によって統括的に管理がさ
れ、実証実験等において適正な実施が担保されていること。

条件3 事業全体として、自主回収事業者が行う原材料調達及び加
工委託とみなせること。



■「横浜市廃棄物を使用した試験研究に関する要綱」を制定

～民間事業者による先進的な取組を支援します～

本市において廃棄物を使用した試験研究(社会実証を含む)を行う場合は、試験研究の実施計画書の提出により、実施期間中における廃棄物処理法に係る一部許可等の省略を認めています。本要綱では、実施計画書の提出書類や審査基準を定めています。

上記条件及び要綱に係る詳細は、本市ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/gomi-recycle/sangyo/haishutsu/10jikken.html>



お問合せ先

資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長 大島 貴至 Tel 045-671-2558



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



幹事企業のご紹介

 <p>(前列左から)ecomate(株)、J&T環境(株)、(株)グーン、(株)春秋商事 武松商事(株)、(株)ケイ環境企画、横浜環境保全(株) (後列)横浜市資源循環局事業系廃棄物対策部長</p>	<p>株式会社グーン (金沢区鳥浜町 17 番地 3)</p> <p>代表取締役 <small>ふじえ けいじ</small> 藤枝 慎治 [公益社団法人神奈川県産業資源循環協会会長] 「Circulating Value」をコンセプトに、国内有数の廃棄物再資源化設備等を有し、フリピンをはじめとする海外展開を推し進め、同時に環境負荷の低減を目標に CDP の取組などを実施しています。</p> 
<p><small>しゅんじゅうしょうじ</small> 株式会社 春秋商事 (都筑区川向町 1160 番地)</p>	<p><small>かんきょう</small> J & T 環境株式会社 (鶴見区弁天町 3 番地 1)</p>
<p>代表取締役 <small>かい りくじろう</small> 甲斐 陸二郎 [横浜市一般廃棄物許可業協同組合理事長] 横浜北部を基点として 50 年以上、地域のリサイクルの推進と循環型社会の実現をサポートして参りました。プラスチックの有効利用として RPF の製造も 10 年以上続けており、芝砂分離装置やびん缶ペットボトルの分離装置なども自社開発して、顧客様の問題を解決しています。また、一般廃棄物部門では横浜市より 3 年連続して一般廃棄物収集運搬業優良事業者として表彰されました。</p> 	<p>代表取締役 <small>はせぼ ひろゆき</small> 長谷場 洋之 使用済み PET ボトルの水平リサイクル、食品廃棄物のダブルループリサイクル (電力・肥料化)、使用済みプラスチックの選別・再商品化一貫事業等、先進的な取組を通じ、地球温暖化対策、サーキュラーエコノミーの実現に貢献致します。</p> 
<p><small>よこはまかんきょうほぜん</small> 横浜環境保全株式会社 (中区山下町 209 番地)</p>	<p><small>たけまつしょうじ</small> 武松商事株式会社 (中区山下町 105 番地)</p>
<p>代表取締役 <small>たかはし よしかず</small> 高橋 義和 「未来、そして子供たちのために環境保全事業を通して地域社会に最も貢献する」をミッションとし、横浜を中心に廃棄物処理を行っております。飲食店等から回収した生ごみを有機 100%堆肥に再生し、横浜の水源である山梨県道志村の農家の方々などに提供し、生産された野菜が横浜の飲食店等で提供される食の循環「フードループ」など資源循環の取り組みを進め、より地球規模でお役に立てる会社、地域健康貢献企業を目指します。</p> 	<p>代表取締役 <small>おぐら しんや</small> 小椋 真哉 長年、廃棄物の収集運搬、中間処理を行って参りました。分別文化が定着し地球規模で環境負荷低減活動が求められている新たなステージにおいて、さらなるリサイクルの促進と、不用品を単なる“ごみ”として処理するのではなくリユース品として活用することも含めた総合資源循環事業を目指しています。</p> 
<p><small>かんきょうきかく</small> 株式会社ケイ環境企画 (南区六ツ川二丁目 109 番地 6)</p>	<p><small>エコメイト</small> ecomate有限会社 (金沢区福浦 2-18-16)</p>
<p>代表取締役 <small>かとう ひさのり</small> 加藤 寿規 ～未来へ、環境と資源を考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 一般・産業廃棄物・感染性廃棄物収集運搬処理 ◆ 古物商 ◆ 一般区域貨物自動車運送 ◆ イベント企画立案及び実施運営 	<p>代表取締役 <small>かなもり かずや</small> 金森 和哉 ※11/1 に佐藤清掃有限会社から社名変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬 ・ 産業廃棄物中間処理 ・ 廃プラスチックの循環型リサイクル 

横浜市資源循環推進プラットフォーム

脱炭素型 循環経済への第一歩

— 環境と経済の両立に向けた挑戦 —

キックオフイベント開催

脱炭素社会の実現に向け、横浜市と市内廃棄物処理業者が連携して、「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を立ち上げます。
プラットフォームでは、市内の動静脈連携*の推進及びリサイクル技術の開発・実用化に取り組んでいきます。
脱炭素社会、サーキュラーエコノミー、再生材の活用に興味関心がある方、「リサイクルしたいけどよくわからないな」とお悩みの方、キックオフイベントに参加して、脱炭素型循環経済への第一歩を一緒に踏み出してみませんか。

※ 製品の製造等を行う動脈産業と製品が廃棄物等となった後にリサイクル等を行う静脈産業の連携

参加費無料

先着 **100** 名様

プログラム詳細

第1部 「プラットフォームが目指す姿」 株式会社グーン

第2部 講演

- 「製造メーカーとしての廃棄物削減と現状」(ZACROS株式会社)
- 「J&T環境が取組む脱炭素型資源循環事業について」(J&T環境株式会社)
- 「動静脈産業をつなぐDX」(レコテック株式会社)

第3部 パネルディスカッション

環境省、経済産業省の方をゲストにお招きし、「環境と経済の両立に向けた挑戦」をテーマに議論します。

開催日時

11/27^水

開催時間

13:00 - 16:00
(開場12:30)

会場

横浜駅きた西口徒歩3分

 lag yokohama フラグヨコハマ
(THE YOKOHAMA FRONT 42階)
横浜市神奈川区鶴屋町1丁目41番

参加をご希望の方

お申し込みはこちら ▶
<https://forms.gle/o6sAVM9sdiGUALnW8>



お申し込みの締切日
11月22日(金)

予定人数に達した場合は、応募を締め切らせていただく場合がございます。

横浜市資源循環推進プラットフォーム

キックオフイベント開催

脱炭素型循環経済への第一歩

—環境と経済の両立に向けた挑戦—



登壇企業の紹介

第1部 「プラットフォームが目指す姿」



株式会社グーン

木くずやプラスチックのリサイクル事業を行う企業。東南アジアの新興国を中心に、廃棄物に関する様々な調査を実施し、フィリピンセブ島にプラフ燃料の製造工場を建設するなどグローバルに活躍する。

第2部 「製造メーカーとしての廃棄物削減と現状」



ZACROS株式会社

偏光板保護フィルムとバックインボックスは世界トップシェア、シャンプーやリンスなどの詰め替え用パウチとトンネル用防水シートの国内トップシェアを誇る企業。資源循環社会を創るためリサイクルしやすい単一素材の製品開発を行うなど、サーキュラーエコノミーに取り組む。

「J&T環境が取り組む脱炭素型資源循環事業について」



J&T環境株式会社

グループネットワークを活用した総合資源化リサイクル事業を行う企業。食品廃棄物を電力と肥料に戻すダブルリサイクルループに取り組んでおり、2025年4月には首都圏最大級となる処理能力を有するプラスチックリサイクル施設が本格稼働する。

「動静脈産業をつなぐDX」

RECOTECH

レコテック株式会社

「ネイチャーポジティブな経済発展ができる社会をつくる」をVisionに掲げるClimate Tech Startup。サーキュラーエコノミーを実現するデータプラットフォーム「pool」は、リサイクル材料を活用したい製造業者と排出事業者を繋ぎ合わせて循環型サプライチェーンをデザインする。

アクセス

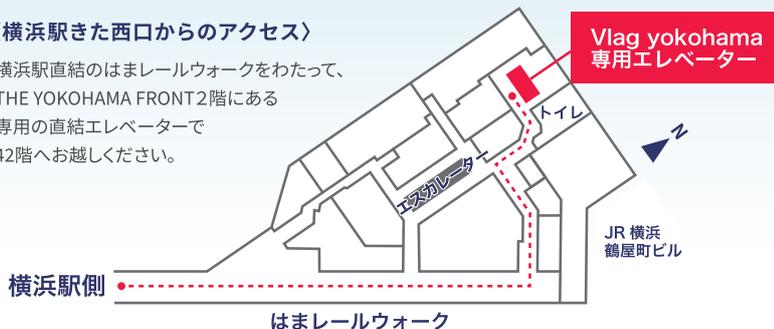
- 東急東横線・みなとみらい線・JR各線「横浜駅」きた西口徒歩3分
- 市営地下鉄ブルーライン「横浜駅」徒歩8分
- 相鉄本線「横浜駅」徒歩9分

※ホール専用の駐車場・駐輪場はありません。

※THE YOKOHAMA FRONTの駐車場・バイク置場・駐輪場をご利用ください。

〈横浜駅きた西口からのアクセス〉

横浜駅直結のはまレールウォークをわたって、THE YOKOHAMA FRONT 2階にある専用の直結エレベーターで42階へお越しください。



お問合せ

横浜市資源循環推進プラットフォーム
イベント事務局

プラットフォーム専用
お問い合わせ ▶



イベントのお申し込みは
こちら ▶

